

## 中毒情報センターから

## 2002年 集団中毒受信報告

(財)日本中毒情報センター

## はじめに

(財)日本中毒情報センター(以下、JPICと記す)では、患者が2名以上の集団中毒事例の問い合わせを受信した際、大規模な集団中毒事件や化学災害に発展する可能性を念頭において対応している。患者が2名以上の集団中毒事例は、犯罪が絡む事件のほか、工場での爆発・漏洩・流出などの労災事故、学校など公共の場所での不慮の事故、植物やキノコを誤認した事例、家庭内での小児の誤飲・誤食事故など多岐にわたる。その頻度や被害の規模は一様ではないが、集団中毒事件や化学災害に発展する可能性のある事例以外でも、中毒事故発生予防の観点から示唆に富む事例が含まれる<sup>1)</sup>。

そこで、本稿では昨年と同様に、集団中毒事例の発生予防と対策を検討するための基礎資料を得る目的で、2002年にJPICが受信した事例<sup>2)</sup>のうち、患者が2名以上の集団中毒事例を集計し、その実態について内容分析を行ったので報告する。

## 1. 集計方法

集計の対象は、2002年1月1日から2002年12月31日までの1年間に受信したヒト急性中毒に関するデータ36,578件<sup>2)</sup>(以下、総受信集計と記す)のうち、患者が2名以上の集団中毒に関する問い合わせとした。受信記録データベースから647件が抽出され、さらに、JPIC受信時点での患者は1名であったが、後日の報道

などで集団事故・事件であったと判明した事例13件を加えた。最終的には660件について解析を行った。

なお、受信データには、ダイヤルQ<sup>3)</sup>、医療機関専用電話、賛助会員専用電話で受信した記録すべてが含まれる。欠損事項については、不明件数として集計対象に加算して、相対構成比を計算した。

## 2. 集計内容とその結果

## 1) 全体集計

## (1) 起因物質別 連絡者別 受信件数

起因物質別連絡者別の受信件数を表1に示す。家庭用品に関する問い合わせが52.0%で最も多かったが、次に工業用品が17.6%(総受信集計では4.2%)、自然毒が10.6%(総受信集計では2.1%)と多いのが特徴的であった。そのほか、一般用医薬品が5.8%、医療用医薬品が5.2%、農業用品が4.7%、食品、他が4.2%であった。連絡者は、医療機関、その他の機関(薬局、学校、保健所、消防など)がそれぞれ38.5%、3.9%(総受信集計ではそれぞれ25.6%、2.3%)であった。

## (2) 起因物質別 発生状況別 受信件数

起因物質別発生状況別の受信件数を表2に示す。

不慮の誤飲・誤食(誤使用や誤認を含む)が83.5%で最も多かったが、総受信集計と比較すると集団中毒では労災の割合が7.9%(総受信集計では1.4%)と高く、家族心中など自殺

表1 起因物質別 連絡者別 受信件数

起因物質	受信件数(件)			合計
	一般市民	医療機関	その他*	
家庭用品	256 <74.6>	70 <20.4>	17 <5.0>	343 <52.0>
医薬品	44 <61.1>	26 <36.1>	2 <2.8>	72 <10.9>
医療用医薬品	21 <61.8>	13 <38.2>	0 <0.0>	34 <5.2>
一般用医薬品	23 <60.5>	13 <34.2>	2 <5.3>	38 <5.8>
農薬用品	14 <45.2>	16 <51.6>	1 <3.2>	31 <4.7>
自然毒	16 <22.9>	52 <74.3>	2 <2.9>	70 <10.6>
工業用品	37 <31.9>	75 <64.7>	4 <3.4>	116 <17.6>
食品, 他	13 <46.4>	15 <53.6>	0 <0.0>	28 <4.2>
計	380 <57.6>	254 <38.5>	26 <3.9>	660 <100.0>

\*：薬局，学校，保健所，消防署など。  
 < >：起因物質別にみた連絡者の構成比(%)。  
 < >：起因物質の構成比(%)。  
 ( )：連絡者の構成比(%)。

表2 起因物質別 発生状況別 受信件数

起因物質	受信件数(件)							不明	合計
	不慮			故意					
	誤飲・誤食等*1	労災	不明	自殺	その他*2	不明			
家庭用品	328 <95.6>	3 <0.9>	5 <1.5>	1 <0.3>	3 <0.9>	1 <0.3>	2 <0.6>	343 <100.0>	
医療用医薬品	29 <85.3>	1 <2.9>	1 <2.9>	1 <2.9>	0 <0.0>	1 <2.9>	1 <2.9>	34 <100.0>	
一般用医薬品	33 <86.8>	1 <2.6>	0 <0.0>	3 <7.9>	0 <0.0>	1 <2.6>	0 <0.0>	38 <100.0>	
農薬用品	20 <64.5>	3 <9.7>	1 <3.2>	4 <12.9>	1 <3.2>	1 <3.2>	1 <3.2>	31 <100.0>	
自然毒	62 <88.6>	0 <0.0>	3 <4.3>	0 <0.0>	5 <7.1>	0 <0.0>	0 <0.0>	70 <100.0>	
工業用品	62 <53.4>	42 <36.2>	3 <2.6>	2 <1.7>	3 <2.6>	1 <0.9>	3 <2.6>	116 <100.0>	
食品, 他	17 <60.7>	2 <7.1>	0 <0.0>	0 <0.0>	4 <14.3>	0 <0.0>	5 <17.9>	28 <100.0>	
計	551 <83.5>	52 <7.9>	13 <2.0>	11 <1.7>	16 <2.4>	5 <0.8>	12 <1.8>	660 <100.0>	

\*1：誤使用などを含む。  
 \*2：乱用，他殺，効果を期待して過剰に使用した(させた)場合などを含む。  
 < >：起因物質別にみた発生状況の構成比(%)。  
 ( )：発生状況の構成比(%)。

企図の割合は1.7%(総受信集計では4.6%)と低かった。

## (3) 起因物質別 発生場所別 受信件数

起因物質別発生場所別の受信件数を表3に示す。

発生場所は，居住内が69.5%で最も多かったが，次いで職場が6.8%を占め，学校5.0%，屋外3.6%の順(それぞれ総受信集計では1.0%，0.5%，1.8%)であり，人が集まる場所での事故が多かった。

## (4) 起因物質別 摂取経路別 受信件数

起因物質別摂取経路別の受信件数を表4に示す。

摂取経路では，経口が65.3%と最も多かったが，吸入が24.7%(総受信集計では3.4%)を占め，集団中毒においては吸入事故が多くみられるのが特徴であった。

## (5) 起因物質別 曝露から受信までの症状の有無別 受信件数

起因物質別曝露から受信までの症状の有無別の受信件数を表5に示す。

曝露から受信までに1名でも何らかの症状が出現した率(有症率)は，自然毒が82.9%と最

表3 起因物質別 発生場所別 受信件数

起因物質	受信件数(件)						合計
	居住内	屋外	職場	学校	その他*	不明	
家庭用品	276 <80.5>	7 <2.0>	3 <0.9>	17 <5.0>	27 <7.9>	13 <3.8>	343 <100.0>
医療用医薬品	29 <85.3>	0 <0.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	3 <8.8>	2 <5.9>	34 <100.0>
一般用医薬品	33 <86.8>	1 <2.6>	0 <0.0>	3 <7.9>	1 <2.6>	0 <0.0>	38 <100.0>
農業用品	15 <48.4>	8 <25.8>	2 <6.5>	1 <3.2>	2 <6.5>	3 <9.7>	31 <100.0>
自然毒	51 <72.9>	1 <1.4>	0 <0.0>	5 <7.1>	6 <8.6>	7 <10.0>	70 <100.0>
工業用品	40 <34.5>	5 <4.3>	39 <33.6>	6 <5.2>	16 <13.8>	10 <8.6>	116 <100.0>
食品, 他	15 <53.6>	2 <7.1>	1 <3.6>	1 <3.6>	6 <21.4>	3 <10.7>	28 <100.0>
計	459 [69.5]	24 [3.6]	45 [6.8]	33 [5.0]	61 [9.2]	38 [5.8]	660 [100.0]

\*：医療施設, 老人ホーム, 養護施設, 車内など。  
 < >：起因物質別にみた発生場所の構成比(%)。  
 [ ]：発生場所の構成比(%)。

表4 起因物質別 摂取経路別 受信件数

起因物質,	受信件数(件)							合計
	経口	経皮	吸入	眼	咬刺傷	その他*	不明	
家庭用品	280 <74.7>	31 <8.3>	56 <14.9>	5 <1.3>	0 <0.0>	3 <0.8>	0 <0.0>	375 <100.0>
医療用医薬品	31 <86.1>	1 <2.8>	3 <8.3>	1 <2.8>	0 <0.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	36 <100.0>
一般用医薬品	34 <89.5>	0 <0.0>	4 <10.5>	0 <0.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	38 <100.0>
農業用品	14 <32.6>	9 <20.9>	16 <37.2>	4 <9.3>	0 <0.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	43 <100.0>
自然毒	68 <95.8>	0 <0.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	2 <2.8>	1 <1.4>	0 <0.0>	71 <100.0>
工業用品	22 <17.5>	11 <8.7>	90 <71.4>	1 <0.8>	0 <0.0>	1 <0.8>	1 <0.8>	126 <100.0>
食品, 他	20 <69.0>	0 <0.0>	8 <27.6>	1 <3.4>	0 <0.0>	0 <0.0>	0 <0.0>	29 <100.0>
計	469 [65.3]	52 [7.2]	177 [24.7]	12 [1.7]	2 [0.3]	5 [0.7]	1 [0.1]	718 [100.0]

\*：皮下・静脈・筋肉内注射, 直腸・膈内挿入, 耳・鼻腔内挿入, 全身曝露など。  
 < >：起因物質別にみた摂取経路の構成比(%)。  
 [ ]：摂取経路の構成比(%)。

表5 起因物質別 曝露から受信までの症状の有無別 受信件数

起因物質	受信件数(件)			
	有症状	無症状	不明	合計
家庭用品	79 <23.0>	262 <76.4>	2 <0.6>	343 <100.0>
医療用医薬品	10 <29.4>	21 <61.8>	3 <8.8>	34 <100.0>
一般用医薬品	9 <23.7>	29 <76.3>	0 <0.0>	38 <100.0>
農業用品	18 <58.1>	13 <41.9>	0 <0.0>	31 <100.0>
自然毒	58 <82.9>	11 <15.7>	1 <1.4>	70 <100.0>
工業用品	94 <81.0>	18 <15.5>	4 <3.4>	116 <100.0>
食品, 他	21 <75.0>	6 <21.4>	1 <3.6>	28 <100.0>
計	289 [43.8]	360 [54.5]	11 [1.7]	660 [100.0]

< > : 起因物質別にみた曝露から受信までの症状の有無の構成比(%)

[ ] : 症状の有無の構成比(%)

も高く、次いで工業用品が81.0%、食品、他が75.0%、農業用品が58.1%であった。総受信集計と比較すると、医薬品と農業用品の有症率は同程度または低めであったが、他のカテゴリーではより高い有症率であり、集団中毒の際の緊急性が明らかになった。

## 2) 集団中毒事件

意図的で悪意のある集団中毒事件(いたずらを含む)、工場爆発やガス漏れ事故などに関する問い合わせ33件(事例件数は30件)を表6にまとめた。なお、ここでは工場、農場などの職場において業務上の作業中に発生した集団中毒(労災)は除いて別項にまとめた。

起因物質としては、工業用品が9件と最も多く、次いでマジックマッシュルームなどのドラッグ類8件、催涙スプレー4件であった。摂取経路は、経口が19件、吸入が11件であった。催涙スプレーの場合は、吸入だけでなく、眼にも曝露していた。連絡者は、医療機関が27件、一般市民が4件、保健所が2件であった。曝露してから受信までに1名でも症状があった件数は33件中30件(90.9%)と多かった。

発生状況としては、工場爆発やガス漏れなど

により工業用品が漏出する事故が4件と多かった。意図的な例では、前述したマジックマッシュルームの乱用や催涙スプレーによる事件以外に、飲食物に何らかの物質を混入した事件が今年も発生した。飲食物への混入の可能性がある事例に関しては、意図的でない事例も含めると14件の問い合わせがあったが、受信時に原因物質が不明であることが多く、対応が難しいのが現状である。また、昨年同様、駅周辺やビル内、飲食店など不特定多数の人が集まる場所での事件発生が散見され、今後も注意が必要である。

なお、2名以上の患者の発生が確認ができなかったため、今回の集計には加えなかったが、事故発生当初は集団中毒が予想され、行政機関などから問い合わせを受けたという事例もある。1例をあげると、2002年3月に滋賀県で発生した水道水へのフェノール類の混入では、異臭に関する問い合わせが住民から県に入り、県からJPICへの問い合わせがあった。JPICでは連絡があった県などに対し、資料送付などの対応を行った。最大時で3,300世帯(10,800人)への給水を中止したが、幸いにもこの事例では最終的には健康被害は発生しなかった。

### 3) 職場における業務上の作業中の集団中毒事故

職場において業務上の作業中に発生した集団中毒(労災)に関する問い合わせ54件(事例件数は52件)を表7にまとめた。

発生場所は、工場17件(31.5%)、病院内11件(20.4%)、屋外4件(7.4%)などであった。

起因物質としては、工業用品が39件と大半を占め、農業用品が4件であった。摂取経路は、吸入が51件と最も多かった。連絡者は、医療機関が51件、行政機関や企業が2件、一般市民が1件であった。水銀血圧計の事故1件を除く53件で、曝露してから受信までに少なくとも1名に症状がみられた。

農業用品の中毒事故4件では、今年も農薬散布中の事故1件、医療従事者の二次汚染が2件発生しており、今後とも注意が必要である。

発生状況としては、工業用品などを取り扱っている最中に、何らかのガスが発生して吸入した事故が38件と最も多く、その中には工場以外に病院内や屋外での事故もあった。病院内では、エチレンオキサイドによる事故が4件、院内製剤を調製中にガスの発生が1件、水銀血圧計の破損が1件あり、屋外での事故は爆薬や発煙筒を使用した訓練中の事故が2件あった。職場における業務上の作業中の事故に関しては、作業環境の見直しや事故防止強化の対応が望まれる。

### 4) 学校における集団中毒事故

幼稚園(保育所を含む)から大学まで、各種学校内で発生した集団中毒に関する問い合わせ33件(事例件数は30件)を表8にまとめた。起因物質は、家庭用品が13件で最も多く、次いで工業用品7件、自然毒5件の順であった。連絡者は、医療機関19件、学校・保健所など12件、一般市民2件であった。

発生状況は、実験など授業中の事故5件、備え付けの消火器の飛散3件、給食への混入2件など多岐にわたり、曝露してから受信までに1名でも症状があった事例は22件(73%)にのぼった。

最も被害者が多かったのは、小学校で虫歯予防の指導中に歯垢の有無を識別する鋭剤と間違えて残留塩素測定試薬を配布し、249名が口に入れたという事故であった。学校では被害が数百人に及ぶ可能性もあり、化学物質の使用には充分注意を払う必要がある。

### 5) その他の集団中毒事故

前述した中毒事件、職場における業務上の作業中の事故、学校での集団中毒事故を除く事例については、その他の集団中毒に関する問い合わせ51件(事例件数は50件)として表9にまとめた。なお、ここでは自然毒、居住内での不慮の事故は除いて別項にまとめた。

起因物質としては、工業用品が21件、家庭用品が18件、農業用品が11件などであった。連絡者は、一般市民が24件、医療機関が21件、行政機関や老人保健施設などの機関が6件であった。摂取経路は、吸入が33件、経口が17件であった。曝露してから受信までに1名でも症状があった件数は51件中34件(66.7%)であったが、起因物質を工業用品に限ると21件中19件(90.5%)と多かった。

発生状況としては、薬剤の散布による事故が14件あり、業者が薬剤を散布している場所を通りかかって曝露した事例、居室にて業者が薬剤を使用し、住人に症状が出現した事例、隣人が殺虫剤などを散布して被害を受けた事例などであった。このような事例では、家族単位で被害を受ける可能性があるうえに、問い合わせ時に原因物質が判明していない場合があるため、事故発生時には、薬剤使用者に物質に関する情報を確認することが重要である。

発生場所については、老人保健施設、老人ホームでの事故が7件あり、それらは脱酸素剤や義歯洗浄剤などの家庭用品を誤食した事例であった。高齢者では痴呆の有無にかかわらず事故が発生しており、誤飲・誤食しやすい物質については身の周りに置かないようにするなどの対策が望まれる。

また、職場で発生した業務上の作業中の事故を除く事例が7件あり、蛍光灯の破裂が3件、

冷蔵庫から漏出したフロンガスによる事例が2件であった。

#### 6) 自然毒による集団中毒事故

自然毒による集団中毒に関する問い合わせ61件(事例件数は60件,マジックマッシュルーム,学校での事例を除く)を表10にまとめた。起因物質が多かったのは植物31件,キノコ18件であった。被害者数はいずれも数名で,家族や知人と摂食した事例が大半であった。連絡者は,医療機関が45件,一般市民16件であり,曝露してから受信までに1名でも症状があった事例は54件と約9割を占めた。

発生状況としては,スイセンの葉をニラなどと誤った事例(6件),野外活動中にバイケイソウをギボウシなどと誤って採取した事例(5件),チョウセンアサガオの根をゴボウと誤った事例(2件)など誤認による事例が目立った。また,キノコの事例の大半は,自分たちで採取した,もしくは他人からもらったキノコによる中毒であった。

事故発生時期は,スイセンでは4~5月,バイケイソウでは3~5月,キノコでは9~10月に集中しており,季節と密接に関わっていることが示唆される。自然毒,とくにキノコ類の鑑定は専門家でも難しいことが多く,素人判断は禁物であり,今後も啓発を行う必要がある。

#### 7) 居住内における不慮の集団中毒事故

居住内で発生した不慮の集団中毒事故414件では,小児の誤飲・誤食,成人の誤認や誤使用,ガスの吸入などがほとんどであった。その代表的な問い合わせ事例を起因物質カテゴリー別に表11にまとめた。

問い合わせが多かった起因物質は,医薬品59件(一般薬30件,医療薬29件),洗剤・洗浄剤46件,鮮度保持剤41件,工業用品33件,乾燥剤31件などであった。

発生状況としては,昨年同様,医薬品では小児が甘いシロップ製剤を大量に摂取した事例,家庭用品では小児の誤飲・誤食のほか,漂白剤やボット用洗浄剤を使用中に家人が知らずに摂

取した事例,食品に同封されている鮮度保持剤や乾燥剤を食品と一緒に摂取した事例,スプレーやくん煙型殺虫剤使用時の吸入事例などが多かった。工業用品では,フロンガス,都市ガス,一酸化炭素,灯油などの吸入事例に関する問い合わせがあった。農業用品の問い合わせは10件と少なかったが,有機リン剤を小児8名がままごとに使用した事例があり,製品管理の注意喚起が必要であると考えられた。

JPICでは,居住内で発生する不慮の集団中毒事故を防止するため,これらの事例をふまえた啓発活動の強化が必要であると考えている。

#### おわりに

JPICでは,電話による情報提供のほかに,ホームページによる情報提供<sup>3,4)</sup>,関連諸機関および中毒専門家と連携した集団中毒への対応<sup>5-7)</sup>,化学災害研修の実施などを行っている。現時点で,集団中毒の発生時にJPICが果たし得る役割は限られているが,食品衛生法により保健所長への届出の義務が規定されている食中毒と同様に,JPICですべての中毒事件・事故の実態が把握できれば,将来の事故防止にその役割を果たすことができると考えている。関連機関の先生方には集団中毒事例が発生したときにはJPICにご一報をくださるようお願いしたい。

居住内での集団中毒事故の発生状況を鑑み,現在JPICでは,消費者に化学製品の特性を伝える唯一の媒体である製品表示が事故発生防止の一端を担えるよう,表示内容とその作成方法について検討している。製品表示が最大限に活用されるような啓発を含め,職場,学校,家庭内などでの不慮の事故防止,さらに,自然毒の誤認による中毒事故防止のための啓発活動を強化していきたい。

#### 参考文献

- 1) (財)日本中毒情報センター：2001年集団中毒受信報告。中毒研究 2002；15：399-414。
- 2) (財)日本中毒情報センター：2002年受信報告。中毒研究 2003；16：213-43。

- 3) 遠藤容子：中毒情報の集め方. Emergency nursing 2003;16:694-9. 1494-1500.
- 4) 遠藤容子, 黒木由美子, 吉岡敏治：日本中毒情報センターと情報ネットワーク. 日本職業・災害医学会雑誌 2002;50:335-9.
- 5) 吉岡敏治, 織田 順, 池内尚司, 他：中毒情報センターの活用. 臨床検査 2002;44:
- 6) NBCテロ対策会議幹事会：NBCテロ対処現地関係機関連携モデル, 2001.
- 7) 黒木由美子, 遠藤容子, 田村満代, 他：集団中毒に対する日本中毒情報センターの対応現状と課題. 中毒研究 2000;13:321-7.

表6~11は次頁以降に掲載

### (財)日本中毒情報センターの問い合わせ先

中毒110番(情報料は1件につき300円)

大阪 0990-50-2499(ダイヤルQ<sup>2</sup>)……365日, 24時間対応  
つくば 0990-52-9899(ダイヤルQ<sup>2</sup>)……365日, 9~21時対応

医療機関専用有料電話(情報料は1件につき2,000円)

大阪 072-726-9923 ……365日, 24時間対応  
つくば 029-851-9999 ……365日, 9~21時対応

たばこ専用電話(情報料は無料. テープによる一般市民向け情報提供)

072-726-9922 ……365日, 24時間対応

賛助会員専用電話(年会費制)

資料申し込み先 FAX: 029-856-3533

ホームページ

<http://www.j-poison-ic.or.jp>

会員向けホームページ(対象は医療従事者, 2,000円/年)

申し込み先 FAX: 029-856-3533

E-mail: [hp-mkaiin@j-poison-ic.or.jp](mailto:hp-mkaiin@j-poison-ic.or.jp)

\*化学物質(たばこ, 家庭用品など), 医薬品, 動植物の毒などによって起こる急性の中毒について, 情報提供しております. 異物誤飲(石ころ, ビー玉など)や食中毒, 慢性の中毒(アルコールやシンナー中毒など)や常用量での医薬品の副作用は受け付けておりません.

表6 集団中毒事件

起因物質	発生日	都道府県	被害者数*	連絡省 (受診者数)	摂取経路	症 状
<b>工業用品</b>						
塩素ガス	7月	高知県	5名	医療機関	全身	悪心、眼の痛み、皮膚の刺戟感
				保健所	不明	不明
塩素ガス	9月	神奈川県	9名	医療機関 (1名)	吸入	咳、咽頭発赤・灼熱感、眼結膜炎
				医療機関 (4名)	吸入	悪心、嘔吐、両手足のしびれ、 眼の違和感・痛み
界面活性剤含有食器洗い 用洗剤	7月	東京都	2名	医療機関	経口	悪心、腹痛、下痢、胸やけ
過炭酸塩含有塩素系漂白 剤	3月	千葉県	3名	医療機関	経口	悪心
次亜塩素酸ナトリウム含 有塩素系漂白剤	2月	兵庫県	2名	医療機関	経口	悪心
灯油	12月	秋田県	72名	保健所	経口	悪心、腹痛
肥料(硝酸65%+鉄1 %+硫酸マグネシウム・ 硫酸亜鉛・ホウ酸0.1% 開始中の液体製品)	5月	沖縄県	11名	医療機関	吸入	頭痛、気分不良、喉の違和感、 胸痛、眼の違和感(咽頭痛、咳、 前胸部の灼熱感あり、3名入院)
<b>乱用薬物・脱法ドラッグ</b>						
脱法ドラッグ	9月	茨城県	2名	医療機関	吸入	意識障害、幻覚、幻視、眩暈
脱法ドラッグ	12月	大阪府	2名	医療機関	経口	息苦しさ、鼻閉、縮瞳
マジックマッシュルーム	2月	兵庫県	2名	医療機関	経口	嘔吐、顔面紅潮、興奮、手足の しびれ
マジックマッシュルーム	5月	佐賀県	2名	医療機関	経口	頭暈、血圧上昇、嘔吐、微風、 会話が少しおぼつかない
マジックマッシュルーム	5月	茨城県	2名	医療機関	経口	意識障害、動脈、過呼吸、眩暈、 気分不良
マジックマッシュルーム	6月	千葉県	2名	医療機関	経口	頭暈、過呼吸、興奮、幻覚
不明の乱用薬物	9月	埼玉県	2名	医療機関	吸入	意識障害、痙攣
<b>催涙スプレー</b>						
催涙スプレー	3月	和歌山県	6名	医療機関	吸入	眼・鼻・鼻の刺戟感、四肢の脱力感
催涙スプレー (カプサイシン)	5月	東京都	26名	医療機関 (7名)	眼、吸入	悪心、嘔吐、腹痛、喉の炎症、 咽頭痛、咳、眼の発赤
				医療機関 (1名電話のみ)	吸入	喉の刺戟感、咳
催涙スプレー	10月	東京都	123名	医療機関 (3名)	吸入	眼・喉の痛み

状 況	JPICの対応
次亜塩素酸ナトリウムを使用している工場で爆発があり、塩素ガスが噴出。工場の付近を通行していた近隣住民が曝露し、5名が受診。大半が入浴済みであり、症状は比較的落ち着いている。	情報提供(電話) 症例追跡調査
次亜塩素酸ナトリウムを使用している工場で爆発があり、塩素ガスが噴出。これから周辺住民の健康調査に行く。症状や被害状況は不明。	情報提供(電話、FAX)
プールにて薬剤の注入を誤り、塩素ガスが発生。付近住民等約200名が避難した。咳が頻くなどの問い合わせが断続的にあり、近隣の小学校の校庭で遊んでいてガスを吸入した子ども1名が受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査 市衛生局へ情報提供(FAX)
プールにて薬剤の注入を誤り、塩素ガスが発生。付近住民等約200名が避難した。400m離れた民家で吸入し、約2時間後から症状出現した家族4名が受診。うち2名は無症状。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収) 市衛生局へ情報提供(FAX)
ファミリーレストランで業務用の洗剤(陰イオン界面活性剤含有)が混入した料理を食べ、症状出現。翌日受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査
外部の人が入院患者用の食事に業務用の塩素系漂白剤を故意に混入した。1日回復した入院患者3名のうち2名に症状出現。なお、新聞では味噌汁は配られなかったと報道された。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
喫茶店で間違えて出された業務用の塩素系漂白剤の5倍希釈液を飲んだ。100~150ml摂取した1名に、軽度の悪心も出現。もう1名は1日程度飲用したか症状は不明。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
弁当店で食用油に業者が間違えて灯油を混入。その油を使用した弁当を取売した。後日、保健所の発表によると、72名に症状が出現し、うち3名が入院。別の1名が入院したが、症状はいずれも軽かった。報道によると、問題の弁当は計2,880名が食べたとのこと。	情報提供(電話、FAX)
空槽で一時預かり中のペットボトル4本が破裂し、中の液体が飛び散った。近くにいた4名がすぐ受診したが無症状であった。後処理を行った7名に頭痛、気分不良などの症状が出現。1時間半後に受診した。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
インターネットで入手した黄色の粉末を鼻から吸入した様子。摂取した場所は不明。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
街で外間人から購入した脱法ドラッグ4錠を屋外で服用。服用2.5時間後に症状出現し、救急搬送。呼吸状態は自覚症状に比べると検査値は悪くない。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
自宅で摂取後、怖くなり、自分で吐いた。救急車にて搬入。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
マジックマッシュルームを摂取した患者2名が来院。1名は少量摂取で無症状。もう1名は1本摂取し、症状出現。摂取した場所は不明。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
カラオケボックスで友人とインターネットで購入したマジックマッシュルームをジュースに溶かし服用。直後より、気分不良、意識障害が出現し、救急車にて来院。	情報提供(電話) 症例追跡調査
屋外でマジックマッシュルームを摂取。量は「2名で15本」または「2名で5g」と各々違うことをいっている。同時に大量のアルコールも摂取。	情報提供(電話) 症例追跡調査
初めて覚醒剤か麻薬(?)を吸入した患者が来院した。友人も吸入したというので、これから搬送予定と電話相談あり。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
飲食店内で、客の1名が故意に催涙スプレーらしいものを噴射した。客や従業員6名に症状出現し、受診。当時、店内には約50名の客がいた。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
電車内で催涙スプレーを噴射され、症状が出現した7名が受診。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
電車内で催涙スプレーを噴射された。患者1名から問い合わせ。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
婦科病棟内で異臭発生。病棟内にいた123名が眼や喉の痛みを訴え、23名が病棟に搬送された。現場から催涙スプレーの缶が見された。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)

起因物質	発生日	都道府県	被害者数*	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症 状
家庭用品						
乾燥剤	9月	東京都	10名位	医療機関	経口	なし
消火剤	5月	京都府	2名	医療機関	吸入	喉の痛み、上腹部不快感
ハンドソープ	3月	東京都	5名	医療機関	経口	腹痛
ボット用洗剤	10月	三重県	2名	医療機関	経口	なし
不明						
不明の物質	3月	京都府	2名	医療機関	経皮	意識障害、脚に痺いラテ
不明の物質	3月	茨城県	3名	医療機関	吸入	咳、悪寒しき、頭重感、顔に力が入らない(立位可能)
不明の物質(ケーキに混入)	3月	千葉県	2名	一般市民	経口	胃重感
不明の物質(お茶に混入、ヒ素?)	5月	神奈川県	3名	一般市民	経口	頭痛、腎炎、血便、高熱
不明の物質(ラムネ菓子に混入)	10月	奈良県	2名	一般市民	経口	手・口・指先・眼の下の違和感
不明の物質(食卓に混入、除菌剤?)	10月	神奈川県	2名	一般市民	経口	悪心、腹部膨満
不明の物質(コーヒーに混入、除菌剤?)	10月	神奈川県	4名	医療機関	経口	喉の痛み
不明の物質(コーヒーに混入)	11月	栃木県	4名	医療機関	経口	嘔吐、腹痛、しびれ、嘔せん
不明の物質(飲料または菓子に混入)	12月	東京都	2名	医療機関	経口	胸やけ、ほてり感、四肢のしびれ

\* 被害者数で新聞報道があった事故・事件については、問い合わせ時の人数ではなく報道などで発表された人数を常に記載している。

### 表7 職場における業務上の作業中の集団中毒事故

起因物質	発生日	都道府県	被害者数*	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症 状
工業用品						
6-フッ化ブタジエン	6月	群馬県	6名	医療機関 (5名)	吸入	悪心、嘔吐、胸水腫
				医療機関 (2名)	吸入	悪心、嘔吐、胸苦しさ、胸水腫、頭重感
C4(ヘキソゲン)	3月	愛知県	3名	医療機関	吸入、経口	意識障害、痙攣、アシドーシス、散瞳のち縮瞳
N-(1)-S-エトキシカルボニル-3-フェニルプロピル-(S)-アラニン+酢酸エナル	2月	静岡県	2名	医療機関	経皮	意識障害、血圧低下、血小板減少、熱傷、ショック
TDI(トルエン2,4-ジイソシアネート)	8月	埼玉県	2名	医療機関	吸入	咳、頭がぼーっとしている
亜鉛フェウム	5月	鳥取県	3名	医療機関 (2名)	吸入	頭痛、発熱、寒気、関節痛、四肢脱力感、白血球増多
アジ化ナトリウム	6月	大阪府	2名	医療機関	吸入	悪心、血圧低下、眼の充血

状 況	JPICの対応
病院の食事に乾燥剤が混入し、10名程度が摂取した可能性がある。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
作業中のスナックに人が侵入し、いたずらで消火剤を散布した。少量吸入、	情報提供(電話) 症例追跡調査
病院内で、やかんにハンドソープが混入され、お茶を飲んだ5名のうち1名に症状出現	情報提供(電話)
ホテルのボットにボット洗剤が突いていた。ボットの湯を2名で飲み、味がおいしいのに気づいた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
水のようなものを首筋にかけられ、直後より1-2時間意識を失った。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
トロール漁中、沖で引き上げた餌状のものからガスが噴出し、3名が吸入した。船まで戻るのに3時間を要した後に受診。患者の顔によると旧日本軍が海軍に沈めたイペリットの可能性があるといっていたが、分析などは行っていない。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
自宅で食べたケーキに、コンクリートか灰砂糖のかけらのようなものが混入していた。分析を依頼したところ、Al, Si, Ca, K, Ti, Mn, Fe, Zrが含有されていたと1ヵ月後に報告あり。	情報提供(電話)
知人に勧められて飲んだ外国製のお茶にヒ素が混入していた可能性がある。飲用した3名に症状出現。勧めた人は飲まなかった。	情報提供(電話)
川内会でもらったラムネ菓子を食べたところ症状出現。手と口を洗済し、上の子の症状は改善したが、下の子の症状は継続し、指先や眼の下の違和感も出現	情報提供(電話)
飲食店で除菌剤が混入した可能性がある料理を食べた。摂取30分後より、症状が出現	情報提供(電話)
職場でコーヒーメーカーに除菌剤らしき臭いのする白色物質が混入しており、服用した4名に症状出現	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
カラオケボックスでコーヒーを飲んだ直後に症状出現し、受診。警察が分析中。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
コンビニエンスストアで購入した飲料と菓子を摂取直後に症状出現。封が開いていたかどうかは不明。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)

状 況	JPICの対応
工場にて液体の6-フッ化ブタジエンを気化させて約8時間使用し、吸入した。救急車で搬送中、車内にいた救急隊員2名、医師1名、患者の妻の計4名も患者の呼吸により軽い悪心出現。5名受診。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
工場にて液体の6-フッ化ブタジエンを気化させて約8時間使用し、吸入した。一次汚染を受けた患者2名が受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
調理中、C4(ヘキソゲン)爆発後の煙を吸入し、10分後より症状出現。1名は意識障害があり重症。5名に選挙が出現。なお、C4(ヘキソゲン)をなめたり、飲み込んだ患者がいたことが後に判明した。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
製菓工場で製品の反応熱が爆発。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
職場で薬品をこぼし、そのまま放置していたため吸入した。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
マンホールの中で重鉛メッキされたはしごの溶接作業を約8時間行った3名のうち、2名に症状出現。帰宅後、近医を受診し、白血球増多で転送された。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
職場で薬品の瓶を振り、蒸気を吸入した。	情報提供(電話)

起因物質	発生日	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	採取経路	症状
亜硝酸ガス	10月	東京都	2名	医療機関	吸入	呼吸不全、胸水腫脹
アルシリングス	6月	茨城県	5名	医療機関	吸入	顔面不快感、悪心、咽喉痛、心窩部不快感
アンモニアガス	6月	岡山県	2名	医療機関	吸入	結皮、口腔内炎症、熱傷
一酸化炭素	8月	岡山県	2名	医療機関	吸入	悪心、意識障害、チアノーゼ、顔面蒼白
一酸化炭素	12月	東京都	4名	医療機関 (2名)	吸入	呼吸困難、意識障害
エチレンオキシド・臭化メチル含有くん蒸剤	12月	福岡県	3名	医療機関 (1名)	吸入	意識障害(意識横断)、血圧低下、嘔吐
塩酸ミスト+硫酸ミスト	9月	静岡県	6名	医療機関	吸入	咳嗽、咽頭・喉頭痛、喘鳴、流涙、眼の充血
塩素ガス	5月	東京都	2名	医療機関	吸入	咳、息苦しさ、眼の充血
次亜塩素酸塩含有洗剤	5月	大阪府	2名	医療機関	吸入	咳、痰の痛み
次亜塩素酸ナトリウム含有洗剤	7月	大分県	2名	医療機関	吸入	悪心、嘔吐、息苦しさ、頭痛、四肢麻痺、全身脱力感
四塩化チタン	8月	北海道	4名	医療機関	吸入	結皮、鼻の痛み、喉の違和感
石油	2月	福岡県	14名	医療機関	吸入	頭痛、目の痛み
ジルコニウム	7月	茨城県	2名	医療機関	経口、吸入	悪心、咳、咽痛、頭痛
シンナー	3月	東京都	3名	医療機関	吸入	意識障害(3時間程度)
シンナー	4月	大阪府	3名	医療機関	吸入	意識障害、顔面紅潮、眼痛、興奮、多汗感
水酸化ナトリウム・水酸化カルシウム含有洗剤	8月	東京都	2名	医療機関	吸入	悪心、嘔吐
スチレン含有樹脂硬化剤	10月	埼玉県	2名	医療機関	吸入	意識混濁(来院時には回復)、気分不良
都市ガス	2月	神奈川県	9名	医療機関	吸入	死亡、意識障害、鼻の刺激感
ドライアイス	7月	大阪府	4名	医療機関 (1名)	吸入	意識障害、血圧低下、胸水腫、錯乱
二酸化硫黄?	10月	長野県	2名	医療機関	吸入	意識障害、悪心
発煙筒	5月	長崎県	少数名	医療機関	吸入	息苦しさ、喉の痛み、発熱
フェノール	10月	愛知県	4~5名	医療機関 (1名)	吸入	咳、左側の痛み、左上肢のしびれ・脱力感
フッ化水素?	3月	熊本県	2名	医療機関	吸入	咳、喉の発赤
フッ化水素	5月	埼玉県	2名	医療機関	吸入	発熱、関節痛
プロパンガス	5月	福岡県	3名	医療機関	吸入	めまい、動悸、悪心、しびれ

状況	JPICの対応
職場で銀に希硝酸を入れて硝酸銀を作る際、発生するNO、NO <sub>2</sub> を排気する管が割れていて、漏出した灰色いガス(NO、NO <sub>2</sub> )を吸入。2名のうち1名に症状出現	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
半導体の工場で配管のメンテナンス中に、リン、ヒ素が付着したものが自然発火、防排マスクを着用し、配管のメンテナンスを行っていた3名と後処理を行った2名が吸入した。作業をしていた3名のうち1名は無症状	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
工場でアンモニアガスが噴出し、直接大規模に曝露した人と吸入した人が受診	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
職場で、コークスの燃焼ガスが停電によって詰出し、吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査
地下鉄の工事現場で作業中、4名に症状が出現し、うち2名が受診。他の2名は他院へ搬送された。血液検査の結果より一酸化炭素中毒と診断された。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
博物館でくん蒸作業中に長時間吸入した。うち1名が、作業3日目に嘔吐を起し倒れているところを発見された。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
ビール工場でビール廃液作業中に発生した塩酸ミスト、硫酸ミストを吸入した。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
工場内で塩酸貯蔵室から塩酸が漏れているのに気づき、室内に入ったところ、1~2分吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
工場にて、次亜塩素酸を含有する洗剤がこぼれていたのに気付かず、蒸発したものを吸入し、症状出現	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
換気状態の悪い病室の浴室で、業務用の次亜塩素酸塩を含有する洗剤を約2時間使用したところ、症状出現	情報提供(電話) 症例追跡調査
旋盤工場で四塩化チタンが吹き出した。止めるのに10分かかり、その間、耳にかかり、吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
火力発電所で重油もれがあり、約9時間マスクをせずに作業していた。中和剤も使用したが、散水時に霧状になってしまった。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
工場でジルコニウム粉末が自然発火し、顔と粉末を吸入した可能性もある。うち1名は無症状	情報提供(電話) 症例追跡調査
換気装置、換気の悪い状態で仕事をしていて3名中2名が倒れた。残る1名はふらふらしていた	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
地下鉄駅のピット内で塗装作業をしていた作業員が充満したシンナーを吸入し、意識消失。救出に入った作業監督者1名も倒れた。救急隊員も倒れ、レスキュー隊により救出された。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
職場で朝から換気をせずに業務用の油汚れ用洗剤を使用。夕方から気分不良となり受診	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
職場で男性2名が約2時間、樹脂を使用した作業をしたところ、気分不良になり倒れた。意識混濁状態であったが、来院時には回復	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
都市ガスの管を撤去する工事にガスが漏れ、作業員と警備員9名がガスを吸入し、病院へ運ばれた。当院へは患者2名が搬送中。後日の報道で2名の死亡を確認	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
ドライアイス会社の1階で、経営者と従業員計4名が倒れているのを別の従業員が発見した。来院した1名には吸入時より胸水腫が認められた。後日、他院に搬送された1名の死亡を確認	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
工場で酸化カルシウムと硫酸を加熱し、発生したガスを作業中の2名が吸入した。会社では、発生したガスは二酸化硫黄ではないかとしている	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
防火訓練中、古い発煙筒をたいて狭い部屋に約30分いた。十数人が症状を訴え、整名が入院した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
排管工事の作業中、別の工場から流出したフェノールを作業員4~5名が吸入した。患者によると、他に同じ症状(しびれ)がある人がもう1名いるとのこと	情報提供(電話) 症例追跡調査
工場内で、フッ化水素が発生する可能性がある実験中に異変がしたのですぐ外に出た。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
工場の解体作業中、フッ素コートを加熱し、発生したフッ化水素を吸入。数時間後に症状が出現し、持続したため受診	情報提供(電話) 症例追跡調査
菓子工場、換気扇をまわしてプロパンガスを使用していた。作業員3名に症状出現。うち1名は動悸が激しくなり、1分間意識を失った。病院に搬送後はバイタル・呼吸状態は落ち着いており、とくに問題なし	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)

起原物質	発生日	都道府県	被害者数*	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症 状
ホスフィン?	3月	北海道	2名	医療機関	吸入	頭暈, 頭重感
ホルマリン	11月	千葉県	4~5名	企業	吸入	眼や喉の痛み, 気分不良
メチルイソブチルケトン	9月	静岡県	9名	医療機関 (2名) 医療機関 (7名)	吸入	めまい, 悪心, しびれ
酸化水素	8月	鹿児島県	9名	医療機関	吸入	酸素飽和度低下
硫化水素	11月	静岡県	2名	一般市民	吸入	喉の乾燥感
酸化水素+二酸化メチル+メチルメルカプタン+硫化メチルの混合液	6月	愛媛県	3名	医療機関	吸入	嘔吐, 冷汗, 意識障害, 頭痛
農薬用品						
クロルピクリン	9月	茨城県	12~13名	医療機関	眼, 吸入	眼瞼結膜の疼痛, 眼の違和感
クロルピクリン+臭化メチル	10月	千葉県	14名	医療機関	眼	眼の痛み, 刺激感
有機リン剤	4月	愛知県	5名	医療機関	吸入	悪心, 頭痛, 眼の違和感
有機リン剤	6月	大阪府	7名	医療機関	吸入	経皮 頭痛
家庭用品						
殺虫剤	11月	富岡県	3名	県保健課	吸入	悪心
医薬品, 医療器具等						
エチレンオキシド	1月	山梨県	6~7名	医療機関	吸入	悪心, 頭痛, 口唇の違和感
エチレンオキシド	5月	新潟県	2名	医療機関	吸入	経皮 悪心
エチレンオキシド	9月	福岡県	3名	医療機関	吸入	嘔吐, 頭痛
エチレンオキシド	10月	福岡県	10名	医療機関	吸入	冷汗, 気分不良, ほてり, 頭痛, 眼の痛み
塩化アルミニウム+蒸留水で発生したガス	9月	大阪府	6名	医療機関	吸入	気逆, 眼の刺激感
殺菌消毒剤	12月	奈良県	2名	医療機関	眼	眼の痛み
水銀血圧計	12月	新潟県	2名	医療機関	吸入	なし
ホルマリン	11月	東京都	10名位	医療機関	吸入	呼吸時胸痛, 眼がバチバチする
不明						
不明の物質	11月	北海道	2名	医療機関 (1名)	吸入	発熱, 咳
不明の物質	7月	大阪府	2名	医療機関	吸入	悪心, 倦怠感

\* 被害者数で新聞報道があった事故・事件については, 問い合わせ時の人数ではなく報道などで発表された人数を基に記載している。

状 況	JPICの対応
職場でホスフィンを吸った可能性がある。1名は頭重感があるが, もう1名は嘔吐状態。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
航空機の荷物の梱包に不備があり, 貨物室の中でホルマリンが気化した。その処理にあたった4~5名が吸入した。	情報提供(電話)
職場で扱っていたメチルイソブチルケトンの蒸気を吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
職場で扱っていたメチルイソブチルケトンの蒸気を吸入した。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
座礁船の船底作業で重油から発生したガスにより症状が出現。発生したガスは硫化水素の可能性があり, 患者のうち2名に改善がみられず, 他院より転送されてくる予定。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
職場で実験中に試験管を割り, 硫化水素ガスを吸入した。	情報提供(電話) 受診を勧める
工場で作業中に, 3名が硫化水素, メチルメルカプタン, 二酸化メチル, 硫化メチルの4種の混合ガスを吸入。硫化水素の割合が一番多い。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
屋外で農薬の職員12~13名がクロルピクリンの廃棄処理中, 誤って眼にかかったり, 吸入したりした。無症状の人もある。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
屋外で農薬散布した。眼の刺激症状があった14名が2日以後に来院。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査
病院で有機リン剤を摂取した患者の処置をしていた看護師5名が次々と気分不良を訴えた。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査
有機リン剤を摂取した患者の処置をしていた病院で, 医師4名, 看護師3名が頭痛を訴えた。処置室や処置物(衣服, 吐物, 胃洗浄液など)から強い刺激臭がした。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
こみ集積場にて, 廃棄されていた殺虫剤容器を吸入。3名が症状を訴えている。	情報提供(電話)
納院内の部屋(密閉)でエチレンオキシドガスが漏出し, 職員が2~3分吸入した。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
病院で, ガス漏れの機軸が壊れており, エチレンオキシドガスが漏出し, 吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
病院内の延焼室で, 滅菌用のエチレンオキシドガスがポンペ1本分漏出した。3名が吸入。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
病院内で処置中に, 看護婦が眠っていた中で2時間作業をしていた。1名に症状が出現。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
病院内で, 塩化アルミニウムと蒸留水を混合し, 院内製剤を調合中, 容器が発熱し, 発生した白いガスを吸入した。いつもの濃度の3倍で調合中であった。	情報提供(電話) 症例追跡調査
病院内で処置中に, 看護婦が眠って消毒器具の配管を抜き, 近くにいた医師らの眼に消毒液が入った。	情報提供(電話) 症例追跡調査
病院内で水銀血圧計を破損し, 水銀が飛散した。処理した看護婦2名が吸入した可能性がある。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
病院内でホルマリンの原液をこぼし, 処置した看護婦10名程度が吸入した。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
頭メッキをしている工場で換気設備が故障し, マスクを着用して作業したが, ガスを吸入した。使用した薬剤は硫酸のみであり, 硫化水素を懸けている。1名のみ来院。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
液晶を作っている工場で, 数人で機械のケーブルの切断作業をしていた。2名に全身倦怠感, 気分不良が出現。切断作業にバーナー等は使用しておらず, その他の化学薬品の使用もない。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)

表8 学校での集団中毒事故

起因物質	発生日	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症状
残留塩素測定試薬	6月	宮崎県	249名	医療機関 (50名)	経口	悪心
				医療機関 (1名)	経口	下痢、発熱
				県保健課務課	経口	不明
				県薬剤師会	経口	不明
薬液仕上げ剤	2月	愛知県	4名	医療機関	経口	肩凝りにびらん
消火剤	5月	長野県	5名	小学校	吸入	咳、喉や目の痛み
消火剤	9月	静岡県	2名	医療機関	吸入	咳、嘔吐
消火剤	10月	茨城県	4名	医療機関	吸入	咳、喉の不快感
鮮度保持剤	11月	愛知県	3名	保育所	経口	なし
脱酸剤	8月	大阪府	90名	保育所	経口	なし
漂白剤	9月	大阪府	2名	一般市民	経口	腹痛
漂白剤	11月	大分県	7名	医療機関	経口	喉の不快感
ヒレスロイド系殺虫剤 (燻煙型)	9月	千葉県	2名	小学校	吸入	喉の痛み
ブラウン管	6月	兵庫県	2名	医療機関	吸入	喉の痛み
保冷剤	7月	東京都	4名	医療機関	経口	なし
マノメーター(気圧計)	7月	千葉県	2名	一般市民	吸入	発赤、腫脹、臭覚異常
<b>医薬品</b>						
塩化ベンザルコニウム	5月	高知県	2名	保育所	経口	なし
次亜塩素酸ナトリウム	5月	埼玉県	34名	小学校	経口	なし
次亜塩素酸ナトリウム	6月	東京都	4名	医療機関	吸入	臭覚異常
次亜塩素酸ナトリウム	9月	神奈川県	2名	保育所	経口	なし
<b>農薬用品</b>						
有機リン系殺虫・殺菌剤	10月	茨城県	5名	医療機関	吸入	悪心、目の痛み
<b>自然毒</b>						
イタチダケ	5月	静岡県	4名	医療機関	経口	気分不良
イヌホオズキ	10月	大分県	5名	小学校	経口	喉の痛み、腹部の違和感、口内

経緯	JPICの対応
小学1~3年生に歯歯予防の指導中、歯垢の有無を識別する錠剤と間違えて残留塩素測定試薬の錠剤を配布し、249名が口に入れた。うち50名が受診し、28名が処置を受けた。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
小学1~3年生に歯歯予防の指導中、歯垢の有無を識別する錠剤と間違えて残留塩素測定試薬の錠剤を配布し、249名が口に入れた。うち1名が受診した。	情報提供(電話) 症例追跡調査
小学1~3年生に歯歯予防の指導中、歯垢の有無を識別する錠剤と間違えて残留塩素測定試薬の錠剤を配布し、249名が口に入れた。	情報提供(電話、FAX)
小学1~3年生に歯歯予防の指導中、歯垢の有無を識別する錠剤と間違えて残留塩素測定試薬の錠剤を配布し、249名が口に入れた。	情報提供(電話)
保育所で園児4名が最大200mlの薬液仕上げ剤を飲んだ。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
小学校(園外)で、児童が消火器を倒して吸入した。	情報提供(電話) 受診を勧める
中学校の廊下で、粉末消火器を倒して吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査
中学校で、粉末消火器を倒して吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査
保育所で、園児がおやつに入っていた鮮度保持剤の袋を破って粉をなめた。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
保育所で、給食調理時にぼしに入っていた脱酸剤に気づかず、そのままだしをとり、園児と職員がそのだしを食べた。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
母親が漂白剤の入っていることに気づかず、水筒にお茶を入れてもたせた。小学校で友人とともに飲んだ。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
小学校で児童が、漂白剤のヤカンに入っていた水を飲んで1口ずつ飲んだ(味が違うことで気づいた)。	情報提供(電話) 症例追跡調査
小学校で職員が、ヒュータンのダニ退治にくん煙剤使用後、用事があって部屋に約10分入浴した。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
高等学校で、テレビのブラウン管が破損した際に、白い煙のようなものが出て吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
幼稚園で、園児の持参した弁当に入っていた保冷剤を、園児4名で食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
学校で気圧計が破損し、すぐに片付けた。翌日から8日間、1日3時間ほどその部屋の中に入った。	情報提供(電話) 受診を勧める
保育所で園児が、50倍以上に希釈した消泡液をいたずらした。少量飲んだ可能性はある。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
小学校の調理実習で、油と間違えて塩素系消毒剤を使用し、クラス全員が食べた。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
学校のプールで、消泡剤を注入用タンクに入れる際、タンクのホースがはずれ、20量程度の量内に原液がこぼれた。マスク・ゴーグルをせずに掃除した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
保育所で、園児が塩素系消毒剤の100倍希釈液を飲んだ。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
小学校の教室で、有機リン系殺虫・殺菌剤を噴霧し、5名に症状出現。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(受診せずと判明)
小学校で児童が、花壇に生えていた2~3cm程のシメジに似たキノコを生で食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査
小学校で児童と先生が、ヤマブドウと間違えてイヌホオズキを食べた。最大で5個食べた子もいる。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)

起因物質	発生月	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症 状
スイセン	6月	東京都	2名	幼稚園	経口	なし
ディフェンバキア	2月	沖縄県	4名	医療機関	経口	舌・口唇の腫れ、痛み、舌の違和感
ヤマゴボウ	9月	広島県	3名	医療機関	経口	なし
<b>工業用品</b>						
オスミウム	12月	石川県	2名	医療機関	吸入	咳、喉の痛み
水酸化ナトリウム	6月	福岡県	3名	医療機関	吸入	喉の痛み、発赤
塗料	2月	東京都	10名位	医療機関	不明	気分不良
塗料溶剤	7月	神奈川県	2名	医療機関	吸入	意識混濁、めまい、悪心、嘔吐
ナフタリン	11月	東京都	4名	中学校	吸入	腹痛、喉の違和感
フェノール	6月	大阪府	2名	医療機関	経口	発疹、食欲不振、悪心、頭痛
プラスチックの燃焼ガス	6月	福岡県	5名	医療機関	吸入	頭痛、咽頭痛

注) 自然毒における起因物質については、一部誤別を受けたもの以外、患者の申告等による。

表 8 その他の集団中毒事故

起因物質	発生月	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症 状
<b>家庭用品</b>						
塩素系漂白剤(漂白用、成分不明)	4月	茨城県	4名	一般市民	経口、吸入	頭痛
家庭用殺虫剤(ピレスロイド剤、芳香剤)	9月	東京都	2名	一般市民	経口、吸入	眼、喉の痛み、口内、顔面紅潮、発赤、皮膚。
家庭用殺虫剤(有機リン剤)	5月	神奈川県	2名	一般市民	吸入	頭痛、眼・鼻の痛み、流涙
家庭用殺虫剤(成分不明)	9月	長野県	7名	医療機関	吸入	喉の痛み・違和感
家庭用殺虫剤(成分不明)	9月	大阪府	4名	医療機関	眼、吸入	悪心、咳、呼吸困難、流涙、眼の充血、羞明
歯磨洗淨剤	12月	滋賀県	2名	医療機関	経口	なし
蛍光灯	6月	神奈川県	2名	一般市民	経皮	なし
消火剤	3月	大分県	3名	一般市民	吸入	なし
消火剤	9月	兵庫県	2名	医療機関	吸入	嘔吐
酢酸保持剤	3月	兵庫県	6名	老人ホーム	経口	なし
酢酸保持剤	6月	長野県	10名	保健センター	経口	なし
酢酸保持剤	10月	山口県	3名	医療機関	経口	なし
酢酸保持剤	12月	福岡県	2名	医療機関	経口	なし

結 語	JPICの対応
幼稚園で幼児がスイセンの球根を食べたかもしれない。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
中学校で生徒が、ワサビと思って観葉植物の茎や葉をなめた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
幼稚園で幼児が、ままこでヤマゴボウの汁をジュースにみたくて飲んだ。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
大学の理学部生が実験中にオスミウムを吸入した。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
高等学校の実験中に水酸化ナトリウムを吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
小学校で塗料使用中、児童10名ぐらいが気分不良となった。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
職業訓練学校で、ニス除去スプレーを使用して吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査
中学校の実験でナフタリンを加熱し、発生したガスを吸入した。	情報提供(電話) 受診を勧める
小学校の林間学校で、キャンプ場の水道水を使用してカレーを作った直後に悪心、嘔吐には発疹が出現。学校によると林間学校に行った児童の大半に症状があるとのことである。この地域で水道水へのフェノール混入があったため、因果関係を心配した。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
学校の歯科検診で使用するミラーを煮沸消毒していたところ、プラスチック部分が溶けて発生した煙を吸入した。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)

状 況	JPICの対応
井戸水に使用する消毒剤を業者が誤って原液で使ったらしい。4日間お風呂などを使用したところ、塩素臭があり、2名に症状がみられる。2名は無症状。	情報提供(電話)
噴霧で殺虫剤や芳香剤をまきあった。吸入し、耳にも入ったかもしれない。	情報提供(電話) 受診を勧める
隣人が使用した殺虫剤の臭いにより、症状が出現し、1ヵ月後も続いている。	情報提供(電話) 受診を勧める
靴磨ビルの店舗でゴキブリ駆除のくん蒸剤を使用した。蒸散した薬剤が排気口を通じて隣の店舗に流入し、客とスタッフ7名に症状発現。	情報提供(電話) 症例追跡調査
飲食店1階でゴキブリ駆除のくん蒸剤を使用したところ、煙が2階に上がり、4名が吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査
老人ホームで入所者2名が歯磨洗淨剤の錠剤を服用した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
駐車場で蛍光灯が破損し、中の液体を2名が浴びた。	情報提供(電話)
職場で消火器が倒れて中の粉が噴出した。片づけ中に3名が吸入した。	情報提供(電話)
図書館で消火器を倒し、子ども2名が吸入。	情報提供(電話) 症例追跡調査
老人ホームで、きんつばについていた脱酸剤と一緒に食べてしまった。	情報提供(電話)
保健センターで、酢酸保持剤を食品と一緒にフードプロセッサーにかけ、10名が摂取した。	情報提供(電話)
老人保健施設で、パンとともに封入されていた酢酸保持剤を高齢者3名が摂取した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
老人ホームで、生のイクラの下に入っていた脱酸剤を梅干と間違えて2名が食べた。痲痺はない。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)

起動物質	発生月	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症状
使い捨てカイロ	11月	大阪府	2名	医療機関	経口	なし
トイレ用防臭剤	3月	熊本県	2名	老人ホーム	経口	なし
廃油処理剤	12月	宮城県	5名	一般市民	経口	なし
漂白剤	9月	東京都	2名	一般市民	吸入	喉の違和感
防虫剤(パラジクロルベンゼン)	7月	東京都	2名	老人ホーム	経口	なし
<b>医薬品</b>						
クレゾール	10月	千葉県	3名	一般市民	吸入	悪心
<b>農薬用品</b>						
クロルピクリン	5月	群馬県	10名	医療機関 (2名)	吸入	眼・喉の痛み
クロルピクリン	9月	静岡県	10名	医療機関 (2名)	眼、吸入	咳、眼・喉の痛み
パラコート+ジクワット	5月	群馬県	3名	医療機関	経皮	なし
有機リン剤	5月	石川県	2名	医療機関	眼、吸入、 経皮、全身 曝露	頭痛、悪心、充血
有機リン剤	5月	鹿児島県	2名	一般市民	吸入、経皮	頭痛
有機リン剤	6月	岡山県	2名	一般市民	吸入	喉の乾き
有機リン剤	11月	千葉県	5名	薬局	吸入	悪心、眼がしばしばする
不明の農薬	5月	東京都	2名	一般市民	経口、吸入、 経皮	なし
不明の農薬	7月	茨城県	2名	一般市民	経吸入	なし
不明の農薬	9月	香川県	2名	一般市民	経皮	なし
不明の農薬	9月	栃木県	3名	一般市民	経口、吸入、 経皮	咳、喉がいがらっぽい、頭痛
<b>工業用品</b>						
アンモニア性窒素	10月	長崎県	6名	一般市民	吸入	意識障害、頭痛、眼・鼻・喉の 痛み
一酸化炭素	3月	長野県	5名	医療機関	吸入	死亡、意識障害、凍傷
過酸化水素水	12月	兵庫県	4名	医療機関	経皮	手がひりひりする
蛍光灯(PCB含有)	2月	大阪府	2名	医療機関	吸入、経皮	頭痛
蛍光灯(PCB含有)	8月	大分県	10名	県教育センタ	吸入、経皮	なし
				医療機関 (1名)	眼、吸入、 経皮	両目にニキビ様の発疹、かゆみ、 結膜のかゆみ
次亜塩素酸ナトリウム	8月	静岡県	13名	医療機関	経口	左わき腹痛、胸痛
白炭処理剤	9月	山口県	2名	一般市民	吸入	悪心、頭痛、ふらつき、口内 の違和感

状況	IPICの対応
老人ホームの食堂で、おかしと間違えて使い捨てカイロの中身を2名が食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
老人保健施設で、トイレ用の防臭剤を2名が食べた。5袋のうち3袋が開封されていた。	情報提供(電話)
廃油処理剤で処理した油を間違えて使用し、肉を焼いて5名が食べた。	情報提供(電話)
自宅マンションのエレベーターで、振舞いのするゴミを持った人と一緒になり、親子で吸入した。	情報提供(電話)
デイホームで老人2名が防虫剤を口にした。	情報提供(電話)
開家で使用したクレゾールの臭いにより、家族3名が気分不良となった。	情報提供(電話) 受診を勧める
業者の立会いのもと、廃棄目的で古い薬剤を溝に流し、発生したガスを10名が吸入した。近くにいた子どもはたいした症状はないが、大人が喉と目の痛みを訴えている。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
如くにクロルピクリンを散布後、漂っていた薬剤を付近の住民10名程度が吸入し、うち症状の重い2名が来院。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
除草剤を服用した患者を家人2名が助けようとしたところ、薬剤が手指、膝等に付着した。洗浄後も指に色が付いている。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
園外で消臭剤と間違えて殺虫剤を散布し、2名が全身に浴びた。1名はマスクをしていなかった。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
自宅周辺に殺虫剤を散布するという通知があったのを忘れ、散が中に窓を開けていた。薬剤が自宅内に流れこみ、子ども2名が吸入。	情報提供(電話) 受診を勧める
業者が自宅の庭に殺虫剤を散布した際、自宅内で2名が吸入。	情報提供(電話) 受診を勧める
園場で業者が園芸用殺虫剤を使用し、5名が吸入した。	情報提供(電話) 受診を勧める
植木に薬剤を散布している付近を通行中、薬液がこぼれた。	情報提供(電話)
個人の使用した農薬が、風向きで自宅に流入し、吸入した。	情報提供(電話)
植木に薬剤を散布している付近を通り、親子で薬液を浴びた。	情報提供(電話)
業者が植木に殺虫剤を散布している付近を通り、3名が薬液を浴びた。2名に症状出現。1名は無症状。	情報提供(電話) 受診を勧める
天井から水漏れし、数時間にわたり後片付けをしていたところ、症状出現。上階で使用しているアンモニア性窒素の可能性がある。	情報提供(電話)
釜田川、テント内で携帯用ガスコンロを使用したまま熟睡。翌朝、2名が死亡しているのが発見され、残る3名も入院。重症の1名が受診した病院の検査結果によると、一酸化炭素中毒の可能性が高い。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
病院の院内で料理の廃棄発生現場中、過酸化水素水がふきこぼれ、4名の手に付着した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
会社で蛍光灯が破裂し、清掃後も臭いの残る部屋で2-3日仕事をしてきたが、症状が顕著したため、11日後に受診。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
研修施設で蛍光灯の安定器が破裂し、飛び散った油状のものを10名が浴びた。	情報提供(電話)
研修施設で蛍光灯の安定器が破裂し、飛び散った油状のものを10名が浴びた。症状の出た1名が翌日受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査
宿泊施設で、飲まないように注意を受けていた次亜塩素酸ナトリウム入りの水を、注意があったことを知らなかった13名が飲んでしまった。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
自宅床下に業者が白炭処理のために薬剤を散布し、2名が吸入。3日後に症状が出現し、受診。	情報提供(電話)

起因物質	発生月	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症状
白蟻駆除剤	10月	東京都	5名	一般市民	吸入	咳、喉の痛み
接着剤(ウレタン樹脂系)	8月	東京都	3名	医療機関	吸入	悪心、下腹部痛、めまい、頭痛、 いらいら、興奮気味、皮膚かびり びりする
接着剤(エポキシ樹脂系)	11月	大阪府	数名	医療機関	経口	悪心、嘔吐、気分不良
接着剤(有機溶剤含有)	4月	北海道	2名	一般市民	吸入	めまい、頭痛、眼・喉の痛み
洗剤(界面活性剤含有)	7月	東京都	4名	一般市民	経口	気分不良
洗剤(次亜塩素酸ナトリウム含有)	10月	大阪府	3名	医療機関	経口	嘔吐、下痢
灯油	12月	東京都	4名	一般市民	経口	腹痛、背部痛(?)
塗料	11月	大阪府	2名	一般市民	吸入	なし
塗料(油性)	3月	大阪府	3名	一般市民	吸入	頭痛、鼻・喉の痛み
尿素(ガス)	10月	富山県	3名	医療機関	吸入	ふらつき
フロンガス	4月	千葉県	3名	一般市民	吸入	息苦しい気がする
フロンガス	12月	新潟県	6名	一般市民	眼、吸入	眼・喉の痛み、息苦しい
消剤(メタクリル酸エステル含有)	4月	東京都	2名	医療機関	吸入	手のしびれ、眼の痛み

表10 自然毒による集団中毒事故

起因物質	発生月	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症状
植物						
アマリリス	2月	福岡県	3名	一般市民	経口	嘔吐
カラ	11月	徳島県	2名	医療機関	経口	悪心、香のしびれ、口腔内の炎 症
カミール	8月	栃木県	2名	一般市民	経口	口腔内の痛み
グラジオラス	12月	広島県	2名	医療機関	経口	口のしびれ
サトイモ	4月	東京都	2名	医療機関	経口	口腔・食道の刺激感
サルビア	10月	群馬県	3名	医療機関	経口	口の腫脹・しびれ・発赤
ジャガイモ	4月	不明	2名	一般市民	経口	なし
ジャガイモ	11月	愛知県	2名	一般市民	経口	喉の痛み、刺激感
ジャガイモ	12月	東京都	3名	一般市民	経口	喉の違和感
スイセン	4月	熊本県	5名	医療機関 (1名)	経口	嘔吐、刑部不快感
スイセン	4月	福島県	2名	医療機関	経口	嘔吐、下痢

状況	JPICの対応
自宅に業者が白蟻駆除剤を散布し、5名が吸入した。その後、子どもに喉の痛みや咳などの症状が出現した。	情報提供(電話)
自宅のマシンのペラングにマットを敷くため、ウレタン樹脂系の接着剤を使用した。臭いがあり、窓を開けて就寝したが、症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
病院にて水道管の工事の際に業者が接着剤を使用。病院職員数名が水道水を飲用したところ、臭いがあり、うち1名に症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査
新しく購入したベッドの臭いがかきつく、家人2名に症状出現。	情報提供(電話) 受診を勧める
自宅マンションにて床の修理のため業者が洗剤を原液で使用。小さな子どもがいるため心配している。	情報提供(電話)
飲食店で食品の漂白に使う洗剤原液を間違えて3名が飲んだ。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
購入したリンゴに封蝋が付着していた可能性があり、リンゴを食べた家族4名のうち、1名に症状出現。	情報提供(電話)
塗料吹き付け作業中、付着を過りかかり、2名が吸入。鼻をかんだら塗料の色が出てきた。	情報提供(電話)
隣家の外装工事に使用したペンキ臭が自宅内に流入し、症状出現。	情報提供(電話) 受診を勧める
職場で、尿素を扱っている付近の工場より漏出したガスを3名が吸入。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
職場にて、冷蔵庫の霜とり中に穴を開け、フロンガスが漏出した。部屋にいた3名が吸入した。	情報提供(電話) 受診を勧める
職場で冷蔵庫からフロンガスが漏れ、6名が吸入し、3名に症状が出現。	情報提供(電話) 受診を勧める
自宅にて業者が床の張替え作業中、家族2名が塗装用の消剤を半日以上吸入した。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)

経緯	JPICの対応
球根1個をタマネギと間違えて調理し、家族で食べた。2名に症状出現。	情報提供(電話) 受診を勧める
レストランで出された料理の皿に飾りとして載せられていた葉を食べた。レストランの担当者から植物名が判明。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
小児が葉をかじった。	情報提供(電話) 受診を勧める
球根をユリネと間違えて、ゆでて1つずつ食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
加熱調理して親子で食べ、直後に症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
児童が学校帰りにサルビアの花をなめた。	情報提供(電話) 症例追跡調査
ジャガイモを煮付けにし、緑の部分も含めて5-6個食べた。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
農協で購入し、サラダにして食べた。直後に症状出現。	情報提供(電話) 受診を勧める
北海道産のジャガイモをもらって冷蔵庫に保管していたものを、茹でて家族で食べたところ症状出現。	情報提供(電話) 受診を勧める
葉をニラと間違えて、ニラ玉にして家族で食べた。直後に症状が出現した1名のみ受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査
茶をアサツキと間違えて、卵とじにして食べた。摂取後3時間で症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(受診せず)

起因物質	発生月	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症状
スイセン	4月	新潟県	7名	医療機関	経口	嘔吐、腹痛、下痢、頭痛
スイセン	5月	宮城県	3名	一般市民	経口	悪心、嘔吐
スイセン	5月	岐阜県	2名	医療機関	経口	悪心、嘔吐、腹痛
スイセン	5月	長野県	2名	医療機関	経口	嘔吐
スイセン	11月	長野県	2名	医療機関	経口	悪心、嘔吐、下痢
チョウセンアサガオ	1月	京都府	5名	医療機関	経口	嘔吐、口のしびれ、下肢の脱力感、眩暈、幻覚、興奮、口渇、痲痺、乏尿
チョウセンアサガオ	6月	大阪府	3名	医療機関	経口	不眠、眩暈、対光反射なし
チョウセンアサガオ(エンジェルトラネペット)	8月	宮崎県	2名	医療機関	経口	不眠、呂律障害、異常健忘感、眩暈、視覚、幻覚、興奮
チョウセンアサガオ	10月	千葉県	8名	医療機関	経口	なし
チョウセンアサガオ	10月	北海道	3名	医療機関	経口	眩暈、筋力低下、幻覚、幻視
ドクゼリ	4月	愛知県	4名	医療機関 (1名)	経口	手・足のしびれ、発熱、全身の脱力感、2日後、歩行時に全身の痛み、眼珠の痛み、皮下出血線状死疹
バイケイソウ(コバイケイソウ)	3月	神奈川県	5名	医療機関 (2名) 一般市民	経口	嘔吐、血圧低下
バイケイソウ	4月	滋賀県	4名	医療機関	経口	嘔吐、手・足のしびれ、眩暈、めまい、全身倦怠感、脱水
バイケイソウ	4月	滋賀県	4名	医療機関	経口	悪心、嘔吐、口・手・足のしびれ、脱力感、血圧低下、徐脈
バイケイソウ	5月	岐阜県	2名	医療機関	経口	嘔吐、血圧低下、徐脈
バイケイソウ(コバイケイソウ)	5月	富山県	6名	医療機関	経口	悪心、嘔吐、下痢、手足のしびれ、顔面蒼白、徐脈、不整脈、低血圧、呼吸抑制
バイケイソウ	5月	神奈川県	5名	医療機関	経口	悪心、嘔吐、徐脈、血圧低下
マムシグサ	7月	山梨県	5名	医療機関	経口	口の腫脹、手足のしびれ、微熱、糖度の血圧低下
ムスカリ	11月	福井県	4名	一般市民	経口	なし
ムラサキシキブ	12月	兵庫県	2名	医療機関	経口	なし
不明の山菜	4月	長野県	2名	医療機関	経口	徐脈、血圧低下
キノコ						
イッポンシメジ、ムラサキシメジ	9月	栃木県	3名	医療機関 (2名)	経口	悪心、嘔吐、下痢(20回以上)、脱水、肝障害、腎不全
イッポンシメジ	10月	栃木県	3名	医療機関	経口	嘔吐、腹痛、下痢(水様便3回)
イッポンシメジ	10月	群馬県	3名	医療機関	経口	悪心、嘔吐、腹痛、下痢(水様便)

経路	JPICの対応
薬をニラと間違えて煮物に入れ、2家計7名が各家庭で食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
薬20粒くらいで味噌汁を作り、1杯ずつ食べた、2名に症状出現	情報提供(電話) 受診を勧める
自宅の庭のスイセンの薬をニラと間違えて、卵とじにして食べた、2名受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査
薬をニラと間違えて食べた、2名受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
知り合いから栽培用にもらった球根を、間違えて肉と炒めて食べた、2名受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
近所からもらったゴボウを使い、炊き込みご飯を作って食べた。摂取後20-30分で全員に症状出現し、受診。その後、チョウセンアサガオであると判明。	情報提供(電話) 症例追跡調査
顔をすりつぶして服用。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
アロエの花の代わりに、観賞用のナスの花を調理して食べた。摂取後3時間で症状出現。家人申告の植物の特徴、園芸店の情報よりエンジェルトラネペットを疑う。	情報提供(電話) 症例追跡調査
小学3、4年生7-8名がチョウセンアサガオの葉をかんだ、もしくはなめた。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
小学校の菜園で採取したゴボウの様な茎葉を家庭で調理して食べた。摂取後30分で症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
数粒よりもらったセリを食べた。摂取後1時間で2名に症状出現し、1名が受診。ドクゼリか間違っていた可能性がある。	情報提供(電話) 症例追跡調査
ハイキング中、オオバギボウシと間違えて採取、山頂で調理して食べた。夜後より症状出現。うち2名が受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
新採の先をオオバギボウシと間違えて食べて受診。退院後、本人よりしゃっくりが止まらないので問い合わせ。	情報提供(電話) 受診を勧める
ギボウシと間違えて採取し、おひたしにして家族で食べた。1名は1葉分、他の3名は数口食べ、摂取後1.5時間で症状出現し、4名受診。専門家が採取した薬を鑑定し、バイケイソウと判明。	情報提供(電話) 症例追跡調査
キャンプ中に野草を採取して薬を食べた。摂取後10分で症状出現。専門家が写物を鑑定したところ、バイケイソウと判明。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査(未回収)
登山中、ギボウシと間違えて2-4枚ほど食べた。摂取後30分で症状出現。6名受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査
オオバギボウシの新芽と間違えて採取し、ゆでて1-2口食べた。当日2名が受診。翌日、症状がない3名も受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査
小学生5名が若い葉を1つずつ食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
ニラと間違えて、鶏肉などと煮た。母親は味見に茎を4-5本食べた。子供たちには汁を飲ませた。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
幼児が兄弟で葉を食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
茎の白い山菜を採取し、薬付けにして食べたところ、症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
採取したキノコを炒めて家族で食べた。翌日に1名受診。後に症状があった他の1名も病院が受診させた。	情報提供(電話、FAX) 症例追跡調査
家族で採取し、ホテル焼きにして食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
購入した「いっぼん」という名のキノコを、きのここうどんにして家族で食べた。摂取後30分-1時間で症状出現。家人がキノコに詳しく、イッポンシメジを疑う。	情報提供(電話) 症例追跡調査

起病物質	発生日	都道府県	被害者数	連絡者 (受診者数)	摂取経路	症 状
カキシメジ	10月	茨城県	3名	医療機関 (1名)	経口	嘔吐, 下痢 (水様便)
カラカサタケ	10月	京都府	2名	医療機関	経口	激しい嘔吐
クサウラベニタケ	10月	新潟県	5名	医療機関	経口	悪心, 嘔吐, 腹痛, 下痢
ツキヨタケ	4月	茨城県	2名	医療機関	経口	悪心, 下痢
ツキヨタケ	10月	福岡県	3名	医療機関	経口	悪心, 嘔吐, 腹痛, 下痢
ツキヨタケ	10月	栃木県	3名	医療機関	経口	悪心, 嘔吐
テングタケ	10月	長野県	2名	医療機関 (1名)	経口	嘔吐, 四肢の不随意運動, 立位不能, 興奮, 意識
ニガクリタケ	9月	群馬県	3名	一般市民	経口	なし
ヒラタケ	1月	香川県	2名	医療機関	経口	嘔吐, 激痛, 軽度の下痢
不明のキノコ	1月	東京都	2名	医療機関	経口	口・舌・手足のしびれ
不明のキノコ	7月	岐阜県	6名	医療機関 (4名)	経口	悪心, 激しい嘔吐
不明のキノコ	8月	山梨県	5名	医療機関	経口	嘔吐, 腹痛, 下痢
不明のキノコ	9月	北海道	4名	医療機関	経口	悪心, 悪寒, 発汗, 流涎, 尿閉
不明のキノコ	9月	茨城県	5名	医療機関	経口	悪心, 嘔吐, 下痢
不明のキノコ	10月	富山県	4名	医療機関	経口	悪心, 嘔吐
水生動物						
アカマダラハク	9月	沖縄県	7名	医療機関 (1名)	経口	下痢, 手・足・口のしびれ, 下肢の腫脹感・筋肉痛, 手の冷感
アンコウ	不明	不明	2名	一般市民	経口	嘔吐, 舌の違和感
カキ	11月	山梨県	4名	一般市民	経口	悪心
カキ	12月	東京都	3名	一般市民	経口	悪心, 嘔吐, 下痢
シイラ	5月	沖縄県	2名	医療機関	経口	四肢のしびれ, 脱力, チアノーゼ, 呼吸停止
ツブ貝	12月	神奈川県	2名	一般市民	経口	なし
フグ	8月	長崎県	4名	医療機関	経口	両頬・口・両手のしびれ, 両上肢の倦怠感, 眼の腫脹感, 頭重感
フグ	10月	富山県	2名	医療機関	経口	手のしびれ, ふらふらしている
昆虫・動物						
アリ	5月	埼玉県	2名	一般市民	経口	なし
ムカデ	6月	神奈川県	2名	一般市民	咬刺傷	局所のしびれ, 痛み
ムカデ	9月	茨城県	2名	一般市民	咬刺傷	しびれ, 痛み

注) 自然毒における起病物質については、一部鑑別を受けたもの以外、患者の申告等による。

結 核	JPICの対応
山で採取した数種類のキノコをもらい、家族で食べた。摂食後2-3時間で症状出現。1名が受診し、もう1名は他の病院を受診。家人がカキシメジを疑う。	情報提供(電話) 症例追跡調査
庭に生えていたキノコをいためて食べた。摂食後2時間で症状出現。家人がカラカサタケを疑う。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査
友人にもらったキノコを鍋料理にして食べた。摂食後2時間で症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査
採取したキノコを家族で食べた。摂食後1.5時間で症状出現。家人が菌室を見てツキヨタケを疑う。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
友人からもらったキノコを生および炒めて食べた。摂食後30分で症状出現。保健所で鑑定し、ツキヨタケと判明。	情報提供(電話) 症例追跡調査
近所の人が調理したツキヨタケを家族で食べた。摂食後1時間で症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
裏山でニギリタケと間違えて採取し、集めて3本食べた。うち1名受診。保健所で鑑定し、テングタケと判明。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査
クリタケと間違えて家族で食べたところ、苦みがあった。	情報提供(電話) 受診を勧める
青果店で購入し、スープにして家族のうち2名が食べた。摂食後5時間で症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
自宅でカニ、キノコなどの入った鍋料理を食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
薄紅色のキノコを食べた。摂食後1時間で症状出現。うち4名が受診。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
山で採取した3種類のキノコを家族で食べた。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
家人が採取したシロシメジに似たキノコを鍋にして家族で食べた。摂食後3時間で症状出現。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査
シメジといってもらったキノコを、家族で汁物にして1杯分ずつ食べた。うち4名に摂食後2時間以内に症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
山で変色があった紫色で楕円形のキノコを採取し、卵とじにして食べた。摂食後1時間で症状出現。	情報提供(電話, FAX) 症例追跡調査(未回収)
沖縄で釣りをし、釣れた魚を民宿で両身、鍋、唐揚げしてもらって食べた。翌日、全員に症状出現。うち1名が帰宅後、千葉県で受診。	情報提供(電話) 症例追跡調査
卵を食べた。詳細不明	情報提供(電話) 受診を勧める
生ガキを家族で食べた。摂食後3日で症状出現。	情報提供(電話) 受診を勧める
卵と卵を食べた。摂食後30分で症状出現。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
北海道から送られたツブ貝に同封されていた注意書きの内容を伝えずに隣人に配布した。	情報提供(電話) 受診を勧める
料理で友人とフグのゆききを5-6切れ食べた。摂食後10-15分で症状出現。保健所でテトロドキシンは検出されず。	情報提供(電話) 症例追跡調査
無免許で調理し、家族が食べた。	情報提供(電話) 症例追跡調査(未回収)
無類しおどりに蝶が入っていたので、1-2匹一緒に食べた可能性がある。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
錠剤中、家族でかまれた。	情報提供(電話) 経過観察を勧める
自宅で家族でかまれた。	情報提供(電話) 受診を勧める

表 11 居住内\*における不慮の集団中毒事故(414件)

	受信件数	被害者数/事例	代表的な問い合わせ事例
家庭用品	洗剤・洗浄剤	46	2～6名 ・漂白剤をまな板の上にかけていたのを忘れ、そこで野菜を切り、料理したものを6名で食べた。 ・食器用中性洗剤を油と間違えて焼き肉に使用し、6名で食べた。
	鮮度保持剤	41	2～4名 ・肌酸薬剤をふりかけと間違えて家族4名で食べた。 ・鮮度保持剤がミキサーに誤って混入したのに気づかず、飲み物をつくり、家族4名で飲んだ。
	乾燥剤	31	2～5名 ・乾燥剤(ビーズ状)が手作りケーキに誤って混入したのに気づかず、5名で食べた。
	体温計・温度計	24	2～5名 ・体温計の水銀がヤカンの中に入ってしまう、その中の水を5名が飲んだ。
	殺虫剤	21	2～4名 ・殺虫剤を1階でくん煙し、2階で家族4名が就寝した。夜中に症状が出現した。
	化粧品	20	2～3名 ・入浴剤の試供品をお茶のバックと間違え、煎じて3名で飲んだ。
	芳香消臭剤	17	2～5名 ・液体消臭剤(詰替用)の蓋をあけたまま振ってしまい、5名の手足や口についた。
	タバコ	16	2名 ・タバコの滲出液がボールに入っていた。だしと間違え、煮物を作って2名で食べた。
	保冷剤	14	2～3名 ・瞬間冷却剤がこぼれてサンドイッチについていたのを気づかず、家族3名で食べた。
	廃油処理剤	13	2～4名 ・廃油処理剤を入れた油で揚げ物をし、家族4名で食べた。
	防虫剤	12	2～3名 ・防虫剤(粉末)を子どもがいたずらし、粉が舞い散った。3名が吸入、または口にしたかも知れない。
	電池	9	2～6名 ・アルカリ乾電池(液漏れあり)がおでんに誤って混入したのに気づかず、6名が食べた。
	文具等	7	2名 ・接着剤を換気の悪い場所で使用し、2名が吸入した。気分が悪くなった。
	園芸用品	7	2～6名 ・除草剤をマスク・手袋なしで、通常の使用濃度より高い濃度で散布した。6名が吸入した。
	消火剤	5	2～4名 ・消火器を玄関で倒し、リビングにいた家族も含め4名が吸入した。
		その他	16
医薬品	医療用	29	2～3名 ・大人の処方薬を子ども3名が食べた。
	一般用	30	2～4名 ・ホウ酸を片栗粉と間違えてオムレツを作り、4名で食べた。 ・市販のかぜシロップ5日分以上を子ども2名が飲んだ。
農薬用品	10	2～8名 ・有機リン剤を子ども8名がままごとで使っていた。手でかき混ぜ、その手を洗わずにおやつを食べた。 ・有機リン剤を通常の使用濃度より10倍高い濃度で散布した。4名が吸入した。	
工業用品	33	2～5名 ・冷蔵庫の霜取り中、ガスが噴出し、5名が吸入した。 ・都市ガスが漏れていた。気づかずに遊んでいた子ども4名が吸入した。 ・灯油を車内でこぼした。3名が吸入した。	
食品、他	13	2～4名 ・ドライイーストをビンに入れて保管していた。誤ってシチューに入れ、4名が食べた。 ・健康食品のヘム鉄(ハチミツ入り)60錠を子ども2名が食べた。	

\* 居住内：庭、ベランダ、および自家用車内を含む